

議会だより

No.80 2013
11・25

たからほ

宮崎県高千穂町議会



こりゃ～ えらしいの～(旭ヶ丘保育園・町民のつどいより)

1.基金31億550万円

(平成24年度一般会計決算) 2～3

2.医療収支は純損失(町立病院)..... 8

3.安心と安全な給水を 6

4.一般質問に4人が登壇 10～11

平成24年度 会計別の決算状況 [万円未満四捨五入]

会 計 名		歳入総額	歳出総額	翌年度繰越額	収入未済額	
一般会計		83億1603万円	81億5840万円	1億5763万円	1億0530万円	
特別会計	国民健康保険	21億0516万円	20億3432万円	7084万円	5006万円	
	簡易水道事業	6521万円	6262万円	258万円	0万円	
	下水道事業	1億7462万円	1億6526万円	936万円	943万円	
	西臼杵地域介護認定審査会	792万円	739万円	53万円	0万円	
	介護保険(事業勘定)	13億4118万円	13億1870万円	2248万円	374万円	
	介護保険(サービス事業勘定)	6658万円	6227万円	432万円	0万円	
	後期高齢者医療	1億6357万円	1億6274万円	83万円	68万円	
	企業会計	病院事業	収益的	19億0077万円	20億0001万円	9923万円の赤字
資本的			500万円	1億7899万円		
水道事業		収益的	1億4358万円	1億2995万円	1349万円の黒字	946万円
		資本的	0万円	5009万円		

*** 町民生活課**
① 浄化槽の保守点検と、県の法定検査の一元化を図り、県に要望すること。
② 窓口業務は町民に親切丁寧に対応し住民サービスに努めること。

*** 保健福祉総合センター**
ふれあい給食センターの施設活用と給食宅配サービスの周知に努めること。

*** 福祉保険課**
農地災害見舞金の支給は所管課へ早急に移管すること。



対応は親切・丁寧にしている

*** 教育委員会**
伝統芸能や、文化財の保護は、予算の増額を図ること。

*** ときわ園**
施設運営の経費削減を図り、生きがいのある施設づくりに努めること。

*** 農林振興課**
有害獣対策は、引き続き広域的かつ、有効な事業に取り組むこと。

*** 農地整備課**
① 補助率の異なる事業は地元負担に不公平感のないよう取り組むこと。
② 国、県の有利な事業に取り組み、積極的に集落の活性化に向けた、農地の保全に努めること。

*** 総務課**
職員の防災意識の向上を図り、町民の安心安全を第一に考慮し、早急な対応に努めること。

*** 建設課**
① 町道の単独事業は努力されているが、予算の増額を図り、町民要望に応えること。
② 国、県の補助事業などを積極的に取り入れ、なお一層の社会資本整備に努めること。

*** 財政課**
基金の運用、起債の活用は町民の負担とならないように努めること。

*** 税務課**
徴収率のアップは、評価するが、今後も各課との連携を図り、さらに収納率向上に努めること。

*** 企画観光課**
① 観光6施設の経営改善に努め、町民負担の軽減を図ること。
② 各イベントを検証し、町の活性化につながるよう努めること。

こんなことを要望 決算審査の付帯意見

平成24年度 一般会計決算

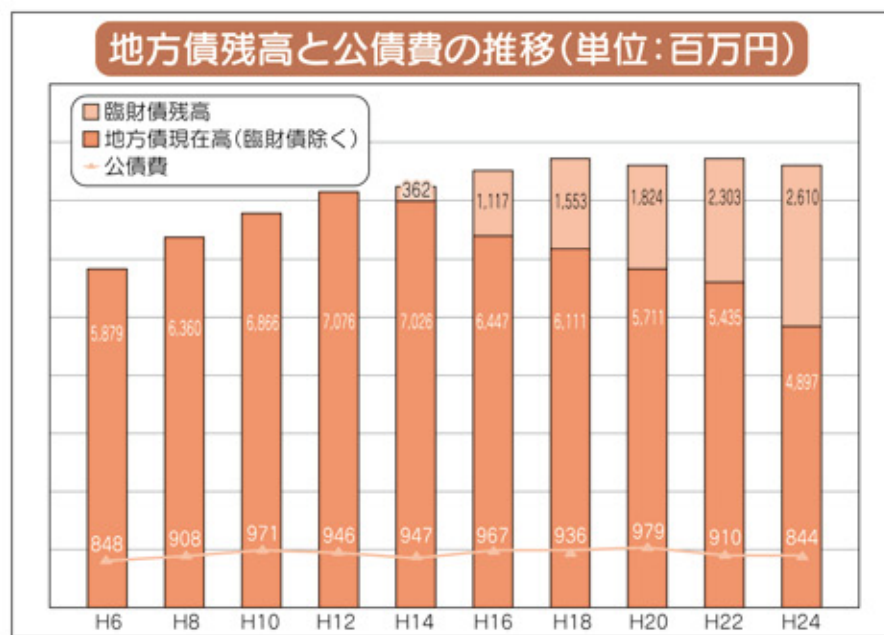
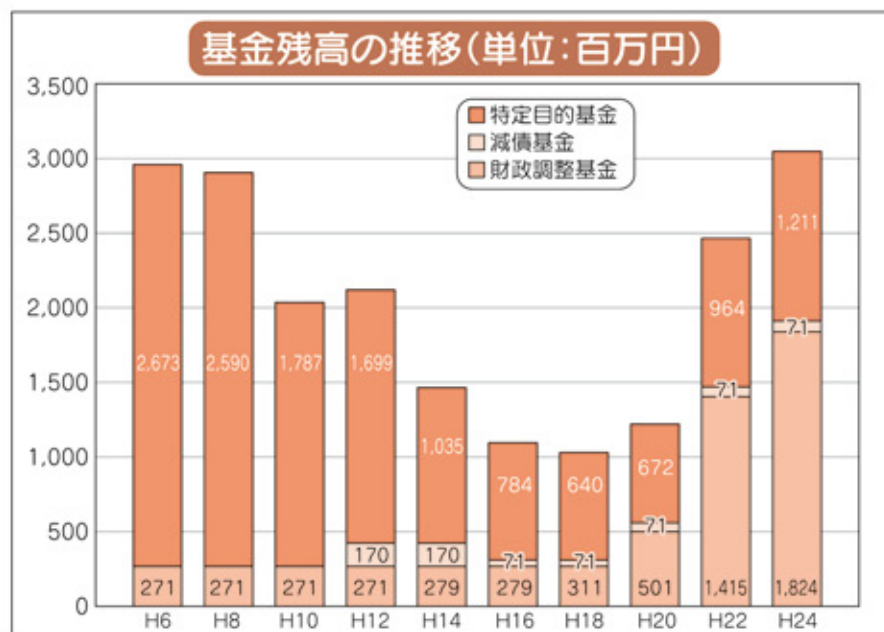
基金残高が31億550万円に

地方債残高は75億657万円

今定例会では、平成24年度各会計10件の決算及び、補正予算、条例の一部改正等を審議し、全議案原案通りに全会一致で、認定・可決しました。
基金は、取り崩しを控え財政運営の努力により増額しています。
地方債は、大きな事業や災害により変動し、元利償還の全額が交付税措置される臨時財政対策債の活用で、実質的な地方債残高は減少傾向にあります。



真剣に審議したばい!! (決算特別委員会)





TPP交渉

意見書

聖域(重要5品目)確保できなければ脱退を

守れ国益

今年3月、本町議会で安倍総理のTPP交渉参加表明に際し、聖域の確保を最優先に交渉を進めることを求める意見書を国に提出している。

また、国会の衆参両院での農林水産委員会においては、重要5品目について、聖域を確保できないければ脱退も辞さないことを決議している。

今回政府は、聖域と位置づけてきた重要5品目について、従来の方針を転換し、細目ごとに関税が撤廃できるかどうかの検討に入ったと報じられたが、これは絶対に容認できるものではない。

よって、国においては重要5品目の関税維持を守り、国益にかなわない場合には、即時交渉から離脱するよう強く要望する。



道州制に断固反対

住民と行政が遠くなる

我々町村議会は平成20年以来、国民に対して丁寧な説明や真摯な議論もないまま、道州制導入法案が提出されようとしていることについて、遺憾の意を表明し、絶対導入しないことを政府・国会に要請してきた。

道州制が導入されれば基礎自治体は合併を余儀なくされ、住民と行政との距離が格段に遠くなり住民自治の衰退は明らかである。

今日まで町村は国土保全に努め、伝統・文化を守り、住民と個性ある街づくりを進めてきたが、道州制により、効率性や経済性を優先することは住民を置き去りにすることである。

多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが国力の増強につながるものであり、よって我々高千穂町議会は道州制の導入に断固反対する。

地球温暖化対策に地方の声



地球温暖化対策で石油・石炭税率の特例措置が平成24年に導入されたが、その使途はCO2排出抑制対策に限定されている。

温暖化防止をより確実なものにするためには、森林の持つ公益的機能を広く国民に理解して頂くことが重要である。

しかし、多くの森林を有する山村地域では木材価格の暴落低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足などから、山の荒廃による自然災害等が多発し、国民の生命・財産が脅かされている。

したがって、山村地域の市町村は、これらの対

策に取り組むための恒久的・安定的な財源確保を講ずることが急務である。

よって、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて、山村市町村へ譲与する仕組みの構築を強く求める。

3件の提出先
内閣総理大臣
安倍晋三殿
他 関係機関

これが



聞きて〜っ

産婦人科の周知は



みんな来ての〜っ

質疑 子宮がん検診で補正を計上している。

井上医院での8月の来院患者数は108人でありそのうち、子宮がん検診者が12人、9月は同126人と検診14人である。

このようなか、受診者増の対策は。

答弁 本町の診療方針は厳しい地域医療を解消するためだが、まだ宣伝不足である。

日之影、五ヶ瀬両町の広報にも載せていただくようお願いする。

補助金の偏りでは

質疑 6次化事業の補助金が特定の事業所に偏っているように見えるが、どのような方法で周知されているのか。

答弁 6次化産業はほとんどが農産物加工である。JAで組織されている作物ごとの部会があり、総会・研修会・実績検討会などで事業を紹介している。



農産物加工連携会議

年度内復旧できるか



えれ〜大きくえじゃの〜

質疑 農地80箇所、施設31箇所、道路11箇所被災。復旧費1億8166万円が計上されている。

年度内の復旧が望まれるが、見通しはどうか。

答弁 国の予算配分等から、全てを年度内に復旧できない可能性が十分予測される。

次年度持ち越しもあるのではと考えている。

サインの統一を

質疑 サイン化計画について、その年度で単発的に整備していくと、ばらばらなサイン(案内板等)ができる可能性があるが、年次計画はどうなるのか。

答弁 ばらばらになると景観上よくないので、統一した年次計画と観光客に見やすく、分かりやすいサイン整備にしたい。

高千穂峡 1735m 240m	くしふる神社 621m 109m
高千穂神社 647m 99m	神話史跡ロード 621m 109m
がまだせ市場 389m 59m	天眞名井 554m 99m
オルレコース 995m 169m	荒立神社 995m 169m

うまいとこしらえての〜っ

鳥獣対策費の減額は



シカ = 10,000円 (国 8,000円、県 1,000円、町 1,000円)
イノシシ = 9,000円 (国 8,000円、県 0円、町 1,000円)
サル = 31,000円 (国 8,000円、県 0円、町 23,000円)

幼獣 シカ 4,000円 町単独
幼獣 イノシシ 5,000円 町単独
じゃんじゃん獲つてよ〜っ

質疑 今回の補正予算で鳥獣被害対策費が減額されているのはなぜか。

答弁 平成25年度から3年間で緊急捕獲対策事業を実施することになり、県費が減額された。

これからも、安心と安全な給水を

(簡易水道・下水道・上水道)

統合には十分な説明を

簡易水道事業決算

簡易水道事業は26施設で運営され、給水人口58,422人、年間配水量67万立方メートル、有収率81・6%です。

歳入

6520万円の主なものは、水道使用料4300万円、一般会計繰入金2000万円、繰越金108万円です。

歳出

6262万円の主なものは、負担金2500万円、人件費1124万円、工事請負費750万円、委託料591万円、手数料411万円で歳出総額の86%を占めています。24年度からモデル統合簡易事業(天岩戸地区・河内地区)を実施し、計画に基づくソフト統合で



よか水を送るばい

暫定直営を行い、運営方針の探索をしています。今後とも安定供給できる給水施設や水源の確保に努力され、統合については、組合員と十分に話し合い、納得していただく事業の展開を要望します。

全員賛成で認定

加入率の向上と未収金解消を下水道事業決算

下水道施設は、接続対象人口4190人、接続人口3772人で接続率90・02%です。

歳入

1億7461万円の主なものは、使用料7411万円、繰入金(一般会計より)8774万円、受益者負担金311万円、繰越金705万円です。

歳出

1億6525万円の主なものは、公債費9554万円、総務費2378万円、工事請負費563万円です。

有効水量の確保を

水道事業決算

歳入

給水件数3270件、給水人口6340人です。事業収益1億4358万円(水道使用料未収金は過年度分を含め、724万円)経常利益136

歳出

総費用1億2994万円の主なものは、建設改良費3200万円、上原線水道管布設工事677万円、役場上水道監視ロガーシステム更新535万円、御塩井No.1ポンプ更新工事404万円、下押方線本管布設工事1工区349万円など、全部で10カ所の改良工事が実施されました。

有収率は、前年度に比べ2・66%上回っています

年間無効水量が28・68%を占めており、さらなる配水管などの整備と漏水調査を実施し有効水量の確保に努め、未収金については、課職員の努力により徴収に努められています。水道使用料は主たる財源であり、経営に及ぼす影響が大きいのでさらなる努力を望みます。

全員賛成で認定

※有収率とは、給水する水量と料金として収入のあった水量との比率です。

不公平感の是正を農地整備課

岩戸日向土地改良区、才田地区のため池等整備事業で、事業種類は農業用排水施設整備、事業量は三方張水路1504メートルの整備で、事業費総額5000万円(5カ年)、受益者負担率1%と非常に補助率の高い事業です。同地区の田6・7畧が対象となり、水路自体の崩壊はもとより、周辺の土砂災害をも未然に防止し、農業用排水、農業生産基盤、財産の安全確保が図られます。

整備事業も補助率の種類がいろいろとあり、できる限り補助率の高い事業の導入と、受益者負担の不公平感を是正するような取り組みを要望します。

全員賛成で可決

総務産業常任委員会



気合入れていくぞー

- 委員長 佐藤 久生
- 副委員長 本願 茂生
- 委員 飯干 清喜
- 委員 谷川 憲
- 委員 戸高 次
- 委員 馬原 英治
- 委員 佐藤 信
- 担当する課
- ・総務課・財政課
- ・税務課(国保税を除く)
- ・会計課・企画観光課・建設課
- ・農林振興課・農地整備課
- ・上下水道課・議会事務局
- ・町民生活課所管の戸籍・3出張所

議会運営委員会



未来へ開かれた議会を目指します

- 委員長 富高 健一郎
- 副委員長 谷川 秀憲
- 委員 富高 友子
- 委員 工藤 博志
- 委員 佐藤 久生

受益者負担金、使用料の未収金が合計943万円となっており、今後も接続率の向上、未収金対策の強化、健全財政の基盤づくりに、なお一層の努力を要望します。

全員賛成で認定



医療収支は純損失

診療体制

常勤医師が外科3人、内科3人、整形外科2人、小児科・眼科1人の合計10人です。
職員、臨時、派遣職員合わせて186人の体制で安定的な診療に努めています。

診療実績

外来患者数は9万8869人（1日平均405人）で昨年比1821人9%の減となっています。
入院患者数は3万2227人（1日平均88・3人）となり昨年比4408人11・8%の減で病床利用率は73・6%です。
事業収益は19億77万円、事業費用は20億円で純損失9924万円の厳しい赤字決算となりました。

要因について

材料費、その他の経費は節約に努めマイナスとなりましたが、入院、外来の患者数が減となり、

給与費、減価償却費の増によるものです。

委員会の意見

27年度より、西臼杵3町で消防常備化に伴い救急患者受け入れ増が予想され、医師への負担増が懸念されます。
西臼杵郡の中核救急病院として患者を受け入れ

るためには、医師の絶対数が足りなく、確保が不可欠です。
今後の町病院のあり方については地域が共働して取り組まなければならない問題であり、泌尿器科、内科医師の確保についても更なる努力を要望します。

全員賛成で認定

条例制定

子ども、子育て会議を設置

子育て支援を総合的、計画的に行うため計画の策定が必要であり、その計画に関し意見を聴くための機関として「子ども子育て会議」を設置します。

15人以内の委員を持つ支援施設について審議することになります。

委員会より、委員の選出については、幅広く町民の中から選出をとの意見に対し、一般公募も検討したいとのことです。

全員賛成で可決



米刈りしたよ（天岩戸保育園）

文教厚生常任委員会



教育・福祉に頑張るばい

委員長 富高友子
副委員長 中島早苗
委員 佐藤健一郎
委員 工藤節生
委員 奈須博志
委員 坂本弘明
担当する課

・町民生活課（生活環境・国民年金）
・福祉保険課・保健福祉総合センター
・ときわ園・教育委員会・町立病院
・税務課（国保税）

医療費も年々増加

1人当たり36万3千円

国保

国民健康保険特別会計

決算は、世帯数2349戸、被保険者4350人、歳入総額21億516万円、歳出総額20億3432万円です。
歳出の主なものは、保険給付費13億2736万円、後期高齢者支援金2億1772万円、共同事

財政状況

業拠出金2億6767万円、介護納付金1億450万円などです。
24年度収支7084万円から23年度繰越金5768万円を差し引くと実質収支は1318万円の黒字となりました。
国保準備積立金は、3

委員会の意見

高齢化社会の進行や被保険者などの減少により、この特別会計の運営は厳しくなり、医療費削減が早急な課題です。
また、一人あたりの医療費は36万2778円で、県内では6番目に高い水準です。

全員賛成で認定

元気老人は健康づくりから

介護保険

介護保険特別会計

保険事業勘定では、歳入決算額13億4118万円に対し歳出決算額は13億1870万円で、247万円を25年度に繰越しています。
主な歳出は保険給付費

委員会の意見

として居宅介護サービス給付金3億6090万円、施設介護サービス給付費5億8339万円、地域密着型介護サービス給付費8208万円などです。

住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らすには、要介護者を増やさないよう、町民の健康づくり対策など、関係機関と連携を図りながら介護予防の施策を積極的に進め地域

全員賛成で認定



92歳おめでとう（社協デイサービス）



工藤博志議員

行財政の改革方針は

町長 有利な起債を活用する

問 町民の生活、福祉の向上・充実に積極的に事業実施していく上で、起債に頼らざるを得ないが、次世代への負担増を避けるために、行財政の改革の方針があるのかの点について問う。

町長 ①地方債は、一般・特別会計を合わせて116億円超である一方、基金は約31億円である。地方債の早期改善に取り組む考えはあるか。

町長 ①臨時財政対策債や、7割が措置される過疎債など有利な起債の有効活用により、将来の償還に必要な財源の質的な負担は、減少傾向にある。

問 ②町土地開発基金条例を廃止し基金は一般財源化、土地は町有財産に処分する考えは、町長はどのようにお考えか。

町長 ②本年度中に処分案を提案する。

問 ③バス事業運営基金は、バス更新費等に活用するための基金だが今後は、活用する考えはあるか。

町長 ③今年度更新については、長期的な視点から有利な過疎債を活用した。

町長 基金活用については、起債を含めた歳入とのバランスを考慮し検討する。

問 ①新年度骨太予算方針は。

町長 ①限られた財源を効率的・効果的に活用し、基幹産業の農林畜産業や商工業の振興、健康・福祉・教育・インフラ整備事業に積極的かつ、きめ細やかな施策を推進していく。

問 ②26年度、本町開催の県畜産共進会の町行政の関わり方は。

町長 ②JA高千穂地区主催だが、開催費用の一部助成や職員の派遣など全面的に協力する。

問 ③次期、町長選への町長の考えについて問う。

町長 ③九州中央道の整備や、広域消防署設置など課題山積である。出馬表明は、時期尚早と考えている。

林道工事で県との連携を

町長 連携深め維持管理に努める



飯干清喜議員

問 林道舗装工事で、着工中の林道でも立派な舗装がされている路線がある。

町長 一方、集落道（森林管理道）では、材木搬出路として町外の大型トラックが頻繁に通行する路線であるにも関わらず未整備となっている。

町長 県に森林管理道の整備負担を働きかけ、県との連携を図る必要があるのではないかと。

町長 森林管理道については、林道としての役割は勿論、集落間



よか道ができよるばい。親父山～（五ヶ所線）

を結ぶ生活に直結した林道であるため町が事業主体となり、改良舗装を国、単純計算で45万7000円の増額が見込まれるが、利用料改定については、維持管理については、他の温泉施設の利用料調査等を行い検討する。

町長 本年度、経営節減対策として、浴槽・空調設備を改修した。

問 高千穂温泉の運営について、相当な経営努力は理解しているが、経営改善策として、入場料の割引制度の見直しと、施設の用途変更（老人福祉館等）も必要な時期ではないか。

町長 温泉施設は大きな観光資源の一つであり今後も利用者増に努力する方針で、現時点では、用途変更は考えていない。

町長 営業時から、入場料割引制度利用

新たな観光資源を

町長 町独自で調査し検討する



佐藤節生議員

問 県内でも観光客数トップを維持している高千穂峡、神話の色濃く残る神社、神楽の伝統芸能継承など町民を上げて、観光客増に努力している。

町長 しかし、日帰りや通過型観光が多く宿泊客が増えないのが現状である。訪れた観光客が今以上にいたり・楽しんだり出

町長 来る観光資源を増やすことで宿泊者数増に繋がると考えている。

町長 そこで、上岩戸の三ツ合地区など町内に数力所ある鍾乳洞を新たな観光資源として利用できれば、本町の観光振興に寄与するものと考えている。

町長 専門家による洞窟調査を行う考えはあるか。

町長 町内には、向山の滝鍾乳洞（太鼓岩鍾乳洞）、水の口地区の「太子ヶ窟」、小谷内地区の「乳ヶ窟」など数多くある鍾乳洞だが、観光資源として活用されていないのが現状である。

町長 三ツ合鍾乳洞について

町長 も同様であり、専門家による調査を行う前に、企画観光課を中心に、町独自で調査・資料収集を行い観光資源になりうるかどうか今後、慎重に検討を行っていく。

今後の乳ガン対策は

町長 受診推奨・啓発に努める



中島早苗議員

問 乳ガンも、他のガン同様、早期発見が重要であり欧米に比べ、受診率が極端に低いのが大きな課題となっている。

町長 受診率は、19・2%（H24年3月31日現在）である。

町長 超高齢化社会を迎え大幅な増加が予想される医療費を、抑制する観点から今後の乳ガン対策は急務となっている。

町長 町の受診率の状況と対策について問う。



はよう見つけて長生きせにや

町長 現時点では、集団検診の中に組み込むことは考えていないが、必要性が生じた時点で検討する。

町長 ピロリ菌については、知って頂くことも重要だが胃ガン検診（バリウム検診）の受診率アップに努める方が重要と考えている。

問 胃ガンの99%以上は、ピロリ菌感染が原因といわれている。一端、感染すると薬で除菌しない限り慢性胃炎を発症し続け60歳を過ぎた頃から急激に胃ガンが増加するといわれている。ピロリ菌検査を定期検診に組み込み胃ガン予防対策を行う考えはあるか。

町長 胃ガンの99%以上は、ピロリ菌感染が原因といわれている。一端、感染すると薬で除菌しない限り慢性胃炎を発症し続け60歳を過ぎた頃から急激に胃ガンが増加するといわれている。ピロリ菌検査を定期検診に組み込み胃ガン予防対策を行う考えはあるか。



掘るごたあならんかの～（三ツ合地区）

新人議員 新 議長 副議長



奈須 克喜副議長

議長挨拶
地方を取り巻く環境は、大変厳しい状況が続いております。議会が町民の代表機関として、地域の発展と福祉の向上のために果たす役割はますます大きくなってきています。私どもはさらなる創意と工夫によって、町民の皆様との協調のもと、よりよい町作りを推進していく必要があると考えます。
今後とも全力を傾注してまいりますのでご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



佐藤 定信議長

- ① 抱負**
町民対話の機会を増やし、開かれた議会の中で、暮らしと福祉の向上を目指します。
- ② 好きな食べ物**
カレー
- ③ 星座**
うお座
- ④ 座右の銘**
初志貫徹
- ⑤ 趣味**
スポーツ観戦

- ① 抱負**
議会として与えられた役割と責任を再認識し、町民に信頼され存在感のある豊かな議会を目指します。
- ② 好きな食べ物**
貝類以外なんでも
- ③ 星座**
ふたご座
- ④ 座右の銘**
初心忘るべからず
- ⑤ 趣味**
スポーツ、音楽

- ① 抱負**
女性の目線で、町の皆さまのお役に立てるよう頑張ります。
- ② 好きな食べ物**
いちご
- ③ 星座**
さそり座
- ④ 座右の銘**
誠実
- ⑤ 趣味**
旅行



中島 早苗議員

- ① 抱負**
初心を忘れず、町民目線で活動していきます。
- ② 好きな食べ物**
おでん、ビール
- ③ 星座**
うお座
- ④ 座右の銘**
やる時はやる！
- ⑤ 趣味**
ドライブ、旅行



本願 和茂議員

どうぞ傍聴席へ

次の定例議会は**12月9日**開会予定です。
傍聴の申し込みは、お気軽に議会事務局にお尋ねください。
TEL73-1219
(議会事務局直通)



議会報
編集委員会

編集後記

町議会議員の、改選により、議会報編集委員の構成が替わりました。
8年ぶり、編集委員に復帰し委員長就任と成りました。

とは言っても、早速文章づくりに、悩み苦しんでいます。
紙面には限りがあり、一部しか報告出来ませんが、「より身近に」、「より解かりやすく」、「より早く発行」を目指して、6名の委員で紙面づくりに健筆を揮います。
感想や、ご意見をどしどしお寄せください。
H.K記

- 発行責任者**
議長 佐藤 定信
- 議会報編集委員会**
委員長 工藤 博志
副委員長 本願 茂志
委員 富高 和子
委員 坂本 友明
委員 佐藤 弘生
委員 中島 早苗